

「認知症」とはどんな病気？

「認知症」とは、さまざまな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために、様々な症状が出て生活に支障が出ている状態を指す総称です。

具体的には次のようなものがあります。

《 認 知 症 》

アルツハイマー型

脳の細胞がゆっくりと機能しなくなる進行性の病気です。脳にたんぱく質の一種が蓄積することで引き起こされますが、詳しい仕組みはまだ解明されていません。現在ではそれを遅らせる薬があるのみで、完全に治すことはできません。若い方でも発症する可能性があります。認知症全体の**5～6割程度**を占めます。

脳血管性

脳梗塞などで脳の血管が詰まって脳細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れることで症状がおきます。認知症全体の**2割程度**を占めます。

その他

(レビー小体型)

脳の細胞が変質して症状が起こるアルツハイマー型とよく似た症状なのが特徴です。認知症全体の**2割程度**を占めます。

認知症ではさまざまな症状が現れます。これらは脳が死んだりすることでおこる「中核症状」と、これが原因で起こってくる「周辺症状」があります。

